

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年2月16日 (2017.2.16)

【公表番号】特表2016-502903(P2016-502903A)
 【公表日】平成28年2月1日 (2016.2.1)
 【年通号数】公開・登録公報2016-007
 【出願番号】特願2015-552165(P2015-552165)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

A 6 1 M 16/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

A 6 1 M 16/10 C

【手続補正書】
 【提出日】平成28年12月26日 (2016.12.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被験者の気道に加圧した呼吸可能なガス流を送出するために、前記被験者の顔に取り付けられる被験者インタフェース器具において、

呼吸回路の導管に結合されるインタフェース本体であり、さらに前記導管を介して前記被験者の気道に加圧した呼吸可能なガス流を送出するために、前記被験者の気道を前記導管と流体連結して配置するように前記被験者の顔に取り付けられる、及びさらに前記インタフェース本体と前記被験者の顔との間に空洞を形成する、インタフェース本体、

前記インタフェース本体により担持される電源であり、電力を供給し、さらに再充電される電源、並びに

前記インタフェース本体により担持されるインタフェース加熱システムであり、前記空洞を制御して加熱し、前記電源により供給される電力により給電されるインタフェース加熱システム

を有する被験者インタフェース器具。

【請求項 2】

前記被験者インタフェース器具と前記被験者との間における電流の伝導が防がれるように、前記電源は前記被験者インタフェース器具内に一体化されている、請求項 1 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 3】

前記電源及び前記インタフェース加熱システムは、前記被験者インタフェース器具のメンテナンス及び／又はクリーニングが前記インタフェース加熱システムも前記電源も露出しないように、前記被験者インタフェース器具内に一体化される、請求項 1 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 4】

前記空洞内の温度及び／又は湿度に関する情報を搬送する出力信号を生成する 1 つ以上のセンサをさらに有し、前記インタフェース加熱システムは前記生成した出力信号に基づいて前記空洞を制御して加熱する、請求項 1 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 5】

前記電源はさらに、前記導管内に置かれる、当該導管を加熱する導管加熱システムに給電する、請求項 1 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 6】

被験者の気道に送出中の呼吸可能なガス流を加熱する方法であり、前記方法は、前記被験者の顔に取り付けられるインタフェース本体を含む、並びにさらに電源及びインタフェース加熱システムを含む被験者インタフェース器具を使用して実現され、

前記インタフェース本体を呼吸回路の導管に取り外せるように結合するステップであり、前記結合するステップは、前記導管を介して前記被験者の気道に呼吸可能なガス流を送出するために、前記被験者の気道を前記導管と流体連結して配置し、及び空洞は前記インタフェース本体と前記被験者の顔との間に形成される、ステップ、

前記インタフェース本体により電源を担持するステップであり、前記電源は電力を供給する及び再充電される、ステップ、

前記電源により電力を前記インタフェース加熱システムに供給するステップ、

前記インタフェース本体により前記インタフェース加熱システムを担持するステップであり、前記インタフェース加熱システムは前記電源により供給される電力により給電される、ステップ、並びに

前記インタフェース加熱システムにより前記空洞を制御して加熱するステップを有する方法。

【請求項 7】

前記電源は、前記被験者インタフェース器具と前記被験者との間における電流の伝導が防がれるように、前記被験者インタフェース器具内に一体化されている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記被験者インタフェース器具のメンテナンス及び／又はクリーニングは、前記インタフェース加熱システムも前記電源も露出しないように、前記インタフェース加熱システム及び前記電源を前記被験者インタフェース器具内に一体化するステップをさらに有する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記空洞内の温度及び／又は湿度に関する情報を搬送する出力信号を生成するステップをさらに有し、前記空洞を制御して加熱するステップは、前記生成した出力信号に基づいている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記導管を加熱するために、前記電源により導管加熱システムに電力を供給するステップをさらに有する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

被験者の気道に送出中の呼吸可能なガス流を加熱する被験者インタフェース器具において、

前記被験者の顔に取り付けることにより、前記被験者の顔の近くに空洞を形成する手段であり、前記手段は呼吸回路の導管に取り外せるように結合され、前記手段は、前記導管を介して前記被験者の気道に呼吸可能なガス流を送出するために、前記被験者の気道を前記導管と流体連結して配置する、手段、

電源を担持する手段であり、前記電源は電力を供給する及び再充電される、手段、

インタフェース加熱システムを担持する手段であり、前記インタフェース加熱システムは前記電源により供給される電力により給電される、手段、及び

前記空洞を制御して加熱する手段を有する被験者インタフェース器具。

【請求項 12】

前記電源は、前記被験者インタフェース器具と前記被験者との間における電流の伝導が防がれるように、前記被験者インタフェース器具内に一体化されている、請求項 11 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 1 3】

前記電源及び前記インタフェース加熱システムは、前記被験者インタフェース器具のメンテナンス及び／又はクリーニングが前記インタフェース加熱システムも前記電源も露出しないように、前記被験者インタフェース器具内に一体化されている、請求項 1 1 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 1 4】

前記空洞内の温度及び／又は湿度に関する情報を搬送する出力信号を生成する手段をさらに有し、前記空洞を制御して加熱する手段の動作は、前記生成した出力信号に基づいている、請求項 1 1 に記載の被験者インタフェース器具。

【請求項 1 5】

前記電源はさらに、前記導管を加熱するために導管加熱システムに給電する、請求項 1 1 に記載の被験者インタフェース器具。